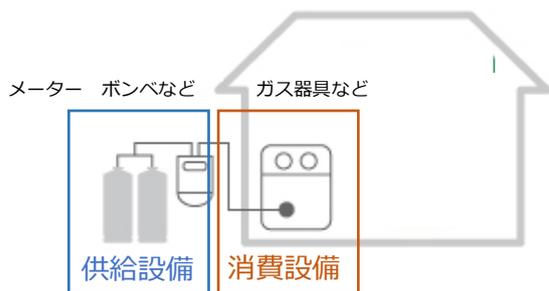


# LPガス周知文書(一般家庭用)

安全の為に社内の皆様でお読みください。  
液化石油ガス法の法令により配布しています。

## 設備の区分と点検調査について



**供給設備** 容器からメーターまで。弊社にて責任を持って管理します。  
**消費設備** 法律上の管理はお客様にございますが、安心して弊社にお任せください。

法令に基づき、以下の点検を実施していますので、ご協力をお願い致します。

**ポンベ交換時**

または検針時の月1回以上

**1年に1回**

安全性の低い器具を使用

または

**4年に1回**

一般のお客様

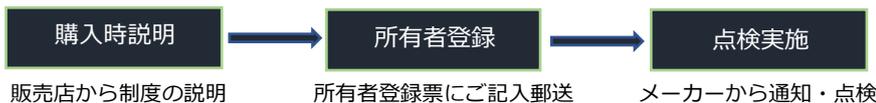
点検の結果、不備がございました場合には、安全の為、速やかな改善にご協力ください。

## 長期使用製品安全点検制度について

2009年4月から、スタートした制度です。経年劣化による重大事故の恐れのある右記の製品を特定保守製品に指定し、点検を促す事で事故防止につなげるものです。

※安全性の向上により2021年8月以降の商品は制度対象外となっています。

【点検までの流れ】



【特定保守製品】



屋内式ガス瞬間湯沸器



屋内式ガスふろがま

- ・ビルトイン式電気食器洗機
- ・浴室用電気乾燥機

## コンロなどの使用について

- ・ガスは空気よりも重いので、漏れると低いところに滞留します。
- ・ガス機器の近くに燃えやすい物を置かないでください。
- ・やむを得ずその場を離れる際は、火を消して安全確認をしてください。
- ・点火時には、特に着衣への着火にご注意ください。
- ・ゴム管は時々点検し、ひび割れや焦げが無いか確認してください。
- ・必ず「LPガス用」のガス器具をご使用ください。



正常な炎



不完全燃焼

Siセンサー付きコンロ



バーナーの中心部の円柱型の出っ張りがSiセンサー。フライパンや天ぷら油の異常な温度上昇を防止して、火災を防止します。新しい商品には全て付いています。

## 換気が必要なガス器具

室内で吸排気をする以下のようなガス器具をご使用の場合、換気に十分気を付けてご使用ください。

**湯沸器**



- ・排気フィンの目詰まり確認をしてください。
- ・シャワーとして使用しない
- ・炎が赤い場合、すぐにご連絡ください。点検致します。

**屋内式で煙突があるふろがま**



- ・キッチンの換気扇と同時使用すると排気が逆流し、室内に流入する事がありますので、大変危険です。
- ・吸気口を物でふさがらないでください。
- ・煙突が鳥の巣などでふさがっていないか点検をしてください。

**ガストーブ**

**ガスファンヒーター**



1時間に1~2回程度、換気をしてください。

**不完全燃焼防止装置付をご使用ください。**

弊社では、屋内式湯沸器、屋内式ふろがまの撲滅運動を行っています。より安全性の高い「屋外式」をお勧めします。



屋外式

リモコン



## 安全性を高める機器類

### スマートガスメーター



連携



- ・ガス漏れを監視
- ・消し忘れを監視
- ・地震を監視
- ・ガスの圧力を監視
- ・ガス流量を監視
- ・その他

ガスメーターが発見した異常を送信機が自動通報します。  
(99.9%設置済)

### ガス漏れ警報器



ガス漏れを発見すると警報音でお知らせ  
全戸設置が目標です

### CO 警報器



一酸化炭素を検知すると警報音でお知らせ  
特に業務用にお勧め

### ガス放出防止機能



地震などにより、ガスボンベが転倒しそうになると、ホースの付け根で自動的にガスを停止  
全戸設置済み

## 大規模災害や大地震の時には

### まずは身の安全を確保

揺れが収まってから、ガス栓などを閉めてください。



### 慌ててコンロを消す必要なし

マイコンガスメーターにお任せを



### 自動的にガスをストップ

震度 5 以上の地震の時にガスを  
使用していると、自動的に STOP

マイコンガスメーター



### 復旧活動

点検後、「使用可否」などの結果を玄関に貼りつけさせていただきます。  
(ご不在時)



## ガスの臭いがする、ガス漏れ警報器が鳴ったら

### ガス器具を使用しない・ガス栓を閉める



### 窓を開けて、ガスを外へ追い出す



気中のガス  
度を下げます

### ガスボンベのバルブを閉める

可能であればご協力ください

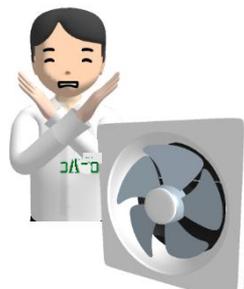


水道の蛇口と同様です

### 火気は絶対に使用しない



コンセントを抜き差ししない



換気扇などのスイッチを入れない



ライターなどを使用しない

- ・ヘアースプレーや殺虫剤にも L P ガスを使用していますので、警報器が作動する事がございます。
- ・ L P ガスは元々無臭で、人が感知しやすいよう着臭してあります。空気中のガス濃度が一定の範囲でないと臭いだけがするだけで、着火はしませんが、油断をせずにおかしいなと感じたらすぐにご連絡ください。

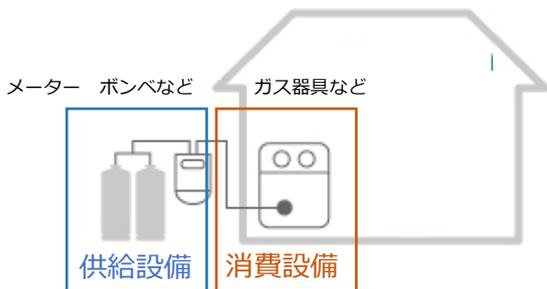
# LPガス周知文書(業務用)

安全の為に社内の皆様でお読みください。

液化石油ガス法の法令により配布しています。



## 設備の区分と点検調査について



**供給設備** 容器からメーターまで。弊社にて責任を持って管理します。  
**消費設備** 法律上の管理はお客様にございますが、安心して弊社にお任せください。

法令に基づき、以下の点検を実施していますので、ご協力をお願い致します。

**ポンベ交換時**

または検針時の月1回以上

**1年に1回**

安全性の低い器具を使用

または

**4年に1回**

一般のお客様

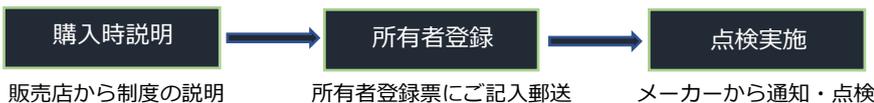
点検の結果、不備がございました場合には、安全の為、速やかな改善にご協力ください。

## 長期使用製品安全点検制度について

2009年4月から、スタートした制度です。経年劣化による重大事故の恐れのある右記の製品を特定保守製品に指定し、点検を促す事で事故防止につなげるものです。

※安全性の向上により2021年8月以降の商品は制度対象外となっています。

【点検までの流れ】



【特定保守製品】



屋内式瞬間湯沸器

## コンロなどの使用について

- ・ガスは空気よりも重いので、漏れると低いところに滞留します。
- ・ガス機器の近くに燃えやすい物を置かないでください。
- ・やむを得ずその場を離れる際は、火を消して安全確認をしてください。
- ・点火時には、特に着衣への着火にご注意ください。
- ・ゴム管は時々点検し、ひび割れや焦げが無いか確認してください。
- ・必ず「LPガス用」のガス器具をご使用ください。



正常な炎

不完全燃焼

- ・燃焼にはたくさんの空気が必要です。換気には十分気を付けてください。空気が不足すると不完全燃焼をして一酸化炭素が発生します。空気中の一酸化炭素濃度が上がると、大事故に至る可能性がありますので、安全な状態でご利用ください。

Siセンサー付きコンロ



バーナーの中心部の円柱型の出っ張りがSiセンサー。フライパンや天ぷら油の異常な温度上昇を防止して、火災を防止します。新しい商品には全て付いています。

## 特に換気が必要なガス器具

**業務用ガス機器は火力が大きい分、より十分な換気が必要になります。必ず換気扇を回してください。**

**不完全燃焼防止装置付をご使用ください。**

湯沸器



- ・排気フィンが目詰まり確認をしてください。
- ・シャワーとして使用しない
- ・炎が赤い場合、すぐにご連絡ください。

業務用コンロなど



弊社では、屋内式湯沸器、屋内式ふろがまの撲滅運動を行っています。より安全性の高い「屋外式」お勧めします。

**業務用ガス機器と家庭用ガス機器**

業務用ガス機器は、故障により営業出来なくなる可能性を軽減するために、安全装置が家庭用ガス機器に比べて少なく出来ています。コンロが万が一**立ち消え**した場合でも**ガスは出続けて**しまいますので、よりご注意を払ってください。

# 安全性を高める機器類

## スマートガスメーター



- ・ガス漏れを監視
- ・消し忘れを監視
- ・地震を監視
- ・ガスの圧力を監視
- ・ガス流量を監視
- ・その他

ガスメーターが発見した異常を送信機が自動通報します。  
(99.9%設置済)

## 業務用ガス漏れ警報器



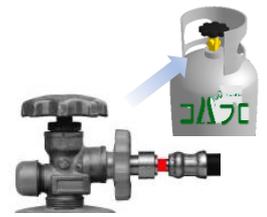
ガス漏れを発見すると警報音でお知らせ  
ガスメーターと連動して必要に応じてガスを遮断

## CO 警報器



一酸化炭素を検知すると警報音でお知らせ  
初回のみ無料

## ガス放出防止機能



地震などにより、ガスボンベが転倒しそうになると、ホースの付け根で自動的にガスを停止  
全戸設置済み

# 大規模災害や大地震の時には

## まずは身の安全を確保

揺れが収まってから、ガス栓などを閉めてください。



## 慌ててコンロを消す必要なし

マイコンガスメーターにお任せを



## 自動的にガスをストップ

震度 5 以上の地震の時にガスを使用していると、自動的に STOP

### マイコンガスメーター



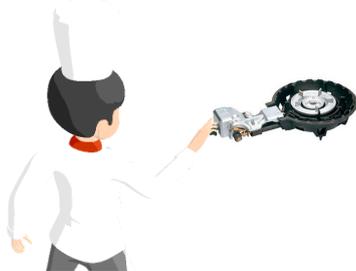
## 復旧活動

点検後、「使用可否」などの結果を玄関に貼りつけさせていただきます。  
(ご不在時)



# ガスの臭いがする、ガス漏れ警報器が鳴ったら

## ガス器具を使用しない・ガス栓を閉める



着火源となるので火気は絶対に使用しない

## 窓を開けて、ガスを外へ追い出す



空気中のガス濃度を下げます

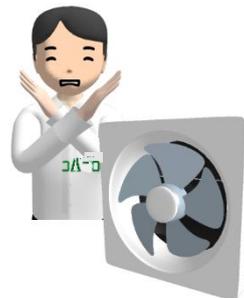
## ガスボンベのバルブを閉める

可能であればご協力ください

水道の蛇口と同様です



コンセントを抜き差ししない



換気扇のスイッチを入れない



ライターを使用しない

- ・殺虫剤にもLPガスを使用していますので、警報器が作動する事がございます。
- ・LPガスは元々無臭で、人が感知しやすいよう着臭してあります。空気中のガス濃度が一定の範囲でないと臭いだけがするだけで、着火はしませんが、油断をせずにおかしいと感じたらすぐにご連絡ください。

# LP ガス保安連絡担当の選任

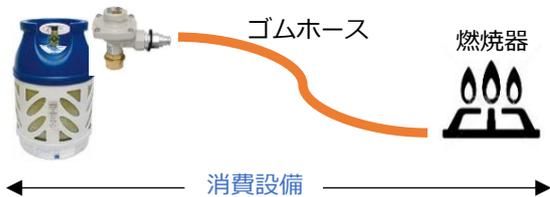
弊社との連絡担当として、3㎡メーター以上、更に10人以上の従業員がいる場合、LPガス保安連絡担当を選任してください。

# LPガス周知文書(質量販売用)

イベント・キッチンカー・バーベキューでガスをご利用になるお客様

液化石油ガス法の法令により配布しています。

## 設備の区分と点検調査



### 消費設備

- ・全てお客様の管理責任となります。
- ・法令に基づき、使用開始時と4年に1度、点検を受ける必要があります。
- ・点検の結果、不備があった場合には、速やかな改善にご協力ください。

### ゴムホースなど

- ・日頃から石鹼水をかけるなど、ガス漏れのチェックを行い、早めに交換を。
- ・LPガス用のガス器具を正しくご使用ください。都市ガス用は絶対に使用禁止

## コンロなどの使用やガスの性質

- ・LPガスは人が感知しやすいよう着臭し、空気よりも重く、漏れると低い所に滞留します。
- ・ガス機器の近くに燃えやすい物を置かない。その場を離れる際は、火を消してください。
- ・三つ又は使用しないでください。
- ・点火時には、特に着衣への着火にご注意ください。
- ・ゴム管は時々点検し、折れ曲がり、ひび割れや焦げが無いか確認してください。
- ・ボンベは平らな場所でご使用ください。
- ・必ず「LPガス用」のガス器具をご使用ください。
- ・燃焼にはたくさんの空気が必要です。換気には十分気を付けてください。空気が不足すると不完全燃焼を起こして一酸化炭素(CO)が発生します。空気中の一酸化炭素濃度が上がると大事故に至る可能性がありますので、十分な換気をする等、安全な状態でご利用ください。



正常な炎

不完全燃焼

## ガスの臭いやガス漏れが発生したら

ガス器具を使用しない



ドアを開けて、ガスを外へ追い出す



ガスボンベのバルブを閉める

付近の人を遠くへ避難させる



火気は絶対に使用しない



コンセントを抜き差ししない



換気扇などのスイッチを入れない



ライターなどを使用しない

弊社、必要に応じて消防署へ  
連絡し指示に従ってください

## ボンベの扱いについて

- ・不要になったボンベは弊社、またはLPガス協会へ連絡をし、適格に処分をしてください。（一般ごみでは絶対に捨てない）
- ・期限が切れたボンベにガスを充てんする事は出来ません。
- ・プラコンボは期限を過ぎた状態で移動させる事は不可能です。

## ボンベの保管について

- ・風通しの良い、40度以上にならない場所で保管してください。
- ・火気から2m以上の場所で保管してください。
- ・使用後は必ずバルブを閉めてください。

## ボンベの運搬について

- ・転倒した時にバルブが開いてガスが噴出する事があります。ロープなどで固定してください。
- ・同一車内でたばこなど、火気は使用しないでください。



## 屋内での使用について

- ・弊社が販売するプラコンボは屋内での使用は可能です。更には、ガス器具へのホースの接続もお客様自身で接続が可能です。

## 賠償保険加入のおすすめ

### 〈個人事業主向け損害賠償保険〉

何が起きてもすべて自分の責任の下で対処しなければいけない個人事業主やフリーランスの方は、第三者に対する賠償責任に対応出来るよう、万が一の時に備えて賠償責任保険に加入していただく事をお勧めします。特に業務用厨房機器は家庭用ガス機器と比較して安全性に劣る構造となっている事から、事故リスクも高まります。僅かな費用で加入できるものや、各種オプションなどもございますので、ご検討ください。

### 〈個人賠償責任保険〉

日常生活において、自身の過失から他人にケガをさせてしまった場合や他人のモノを壊してしまった場合、民事上の損害賠償の責任が生じることがあります。バーベキューなどで、ガスの使用中に思わぬ事故により第三者に危害や損害を与えてしまう事も考えられます。このようなときの賠償金の支払いに備えられる保険が、個人賠償責任保険です。自動車保険や自転車保険のオプションとして加入出来る保険商品もございます。

※弊社では保険の取扱は行っておりません。

# LPガス周知文書(工業用)

安全の為に社内の皆様でお読みください。  
高圧ガス取締法の法令により配布しています。



## LP ガスの性質

### ・空気よりも重い

LP ガスは空気よりも重いので、もしガスがもれたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

### ・臭いをつけてある

LP ガスその物は無色無臭ですが、漏れた時に分かるようにガス特有の臭いを付けてあります。

### ・燃焼には新鮮かつ、たくさんの空気が必要

LP ガスが燃焼する為には空気(酸素)が必要です。換気が不十分な場合は、不完全燃焼を起こし一酸化炭素が発生して危険です。

### ・液化した状態でボンベに入っている

LP ガスは圧力をかけて液化した状態で LP ガスボンベに入っています。

## 貯蔵の注意

- ・ ボンベは直射日光を避け、容器の温度が 40℃ を超えないよう対策を講じてください。
- ・ ボンベは転倒・転落を防止する措置を講じ、風通しの良い場所に置いて湿気などの腐食防止措置を講じてください。
- ・ ボンベ置場から 2m 以内では、火気の使用を禁じ、かつ引火性もしくは発火性の物を置かないでください。
- ・ ボンベの取扱いおよび運搬は、慎重に行い、所定の場所に保管し、車両の荷台などでの保管はしないでください。
- ・ 貯蔵量 300kg 以上の場合、所轄の消防署などに届け出、貯蔵能力 3 t 以上の場合、都道府県に届け出る必要があります。

## 着火・消火は必ず目視で確認を

- ・ ボンベのバルブは静かに開閉し、作業にあたっては、周辺は整理整頓し、保護手袋、保護具を着用し、換気をしっかりとしてください。
- ・ 自動着火装置のある自動切断器などについては、その取扱説明書に従って操作してください。
- ・ トーチバーナーおよび口火は、LP ガスに適合したものを使用し、点火するときは、最初は酸素を出さず、ガスを先に出し点火器で着火後、酸素を徐々に出して火炎を調節してください。消火するときは酸素を先に閉めたあと、ガスを閉止してください。
- ・ 着火後はバーナーの火炎が安定したことを目視で確認してください。また使用中は火炎が適切に保たれているよう注意してください。
- ・ 屋外で作業をする場合は、強風による立ち消えのないような措置を講じてください。
- ・ フレームロッド、圧力センサー、遮断弁などの燃焼安全装置は正常に作動することを確認してください。
- ・ バイパス弁を開けたままの燃焼などは行わないでください。
- ・ バーナーの使用を終了したら、ガス栓、器具栓、ボンベバルブを必ず閉めてください。
- ・ 酸素を併用する場合は、一般高圧ガス関係の周知事項を確認してください。
- ・ ホースと減圧設備等を接続するときは、ホースバンドで締め付けること等により、ガス漏れがないことを確認してください。
- ・ 火花の飛来するおそれがある場所に充てん容器などを置かないでください。

## 着火の前にプレパージ(事前の残ガス排除)を

- ・ 燃焼器は、LP ガスに適合しているものを使用してください。
- ・ 燃焼器に着火する時は、その取扱説明書の着火手順に従って操作してください。特に密閉型強制燃焼方式では、所定の空気量でプレパージを行ってから点火してください。再点火の場合も同様の手順により行ってください。
- ・ 着火後は、バーナーの炎が安定したことを目視確認し、燃焼中の圧力センサー、遮断弁などの安全装置は、正しく使用してください。
- ・ 燃焼器を清掃する場合は、取扱説明書に従い行ってください。また、バーナー等の清掃は専用器具を用いて行ってください。

## 消費設備の使用上の注

---

- ・使用開始時、操業中、終了時をはじめ1日3回以上、消費設備からのガスもれおよび調整器・配管・ゴム管のキズ、ひび割れ、腐食などの点検を行い、異常がある場合には速やかに修理または交換をしてください。
- ・使用後の容器のバルブには、損傷を防ぐためキャップをしてください。
- ・ペーパーライザーを使用している場合の維持管理は、取扱説明書により実施してください。
- ・消費設備を使用する場合については、次のことにご注意ください。
  - (1) 貯蔵設備等の5m以内で、火気(当該設備内の物を除く)の使用を禁止し、引火性、発火性のある物を置かないでください。
  - (2) 燃焼器を屋内に設置する場合は、適切な給排気設備を設置し、一酸化炭素中毒・酸欠事故を未然に防止してください。
  - (3) ガス漏れした場合の滞留防止措置(例えば、通気口を設けるなど)を講じてください。

※定期検査などを実施する時は、LPガス販売業者にご連絡ください。

## 高圧ガスを積載して行動を移動する時の注意

---

- ・高圧ガスの警戒標や消火器/防火資機材/イエローカードも必要です。
- ・高圧ガス運送指導員や高圧ガス運送員の資格が必要となります。  
(遵守しないと高圧ガス保安法により、罰せられます)
- ・容器の内容積が25ℓ(10kg)以下で、合計が50ℓ(20kg)以下を積載する場合は、上記は不要です。

## 災害時の処理は慌てず迅速に

---

ガスもれを感知した時やLPガス用ガス警報器が鳴ったとき。

- (1) 直ちにLPガスの供給を遮断し、すべての火気の使用を中止し、ガス栓器具栓および容器バルブを閉めてください。
- (2) 扉や窓を十分に開け、風通しを良くしてください。
- (3) LPガス販売業者に連絡してください。

火災発生時

LPガスの供給を遮断し、初期消火に努めるとともに消防署などに急報してください。万一のときのために、緊急時の連絡先(LPガス販売業者の電話番号など)を見やすい箇所へ明示しておいてください。

## LPガス用ガス漏れ警報器と消火器について

---

LPガス用ガス警報器と消火器は、適正な位置に適正な性能を有するものを設置することが、高圧ガス保安法により義務づけられています。詳しくは、ご相談ください。